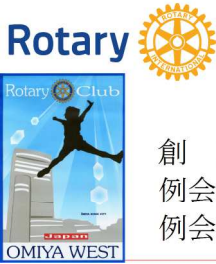


# ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2015～2016年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日	会 長 田口 修身	第2457例会	2016/ 1/18
例会場：パレスホテル大宮	幹 事 小木曾賢己	発 行 日	2016/ 1/25
例会日：月曜日12:30～13:30	会報委員長 藤嶋 剛史	会報当番	望 月 諭

## 会長あいさつ

会長 田口 修身



皆さん、こんにちは。今日は生憎の雪で皆さんこちらに来るのも大変だったと思います。出席ありがとうございます。

今日は、悲しいお知らせが一つあります。昨年の2770地区のガバナー、濱野英美さんが先週金曜日の15日にお亡くなりになりました。11日にくも膜下出血で倒れられ東大宮病院に運ばれましたがそのまま意識が帰らぬまま亡くなりました。まだ67歳でした。どんな遠くからでも声を掛けていただき、私もいろいろと元気づけられて来ました。大変に残念です。ご冥福をお祈りします。尚、通夜告別式は21日22日セレモニー大宮ホールです。

濱野さんのご出身の大宮シティRCから5人の方がメイキャップにいらしています。大宮シティRCは第三グループで会員数は一番多いクラブです。大宮西RCの雰囲気をも十分に味わっていただければと思います。

今日の例会主題は今年の景気予測です。例年どおり、武蔵野銀行の総合研究所の佐藤常務にお話いただきます。佐藤さんは、私と同じ年齢で共通の友人がいて昨年一緒にゴルフなどもさせていただきました。佐藤さんは高校時代サッカー少年で足腰しっかりしていて私よりもドライバーで20, 30ヤード飛びます。

毎年、年初には日経新聞などで今年の景気予想・株価予想が発表されます。各界の経営者やエコノミストと言われる方々がいろいろな予想をいたします。しかしながら中々予想通りにはならない。即ち、当たらないことが多い。国際的にはアメリカの大統領選挙の年は好景気と言われています。理由は選挙に負けたくないから景気刺激策をとるからと言

われています。しかしながら年明け早々から雲行きが怪しい雰囲気です。景気の先行指標といわれる株価は大納会では高値引けで終わりましたが、年初から大暴落に近い落ち込みで推移しています。このままでは今年の半ばころが景気のピークと言うことになるのかなと思います。そのあたりを、佐藤常務に解説して頂きます。

そして来週は、会員の野村證券藤井支店長に今年度の株価予想をお願いしてあります。景気と株価我々の仕事に直接的にも間接的にも影響します。

今日も盛りだくさんですがよろしくお祈りします。

## お客様ご紹介 新井清太 副会長

ぶぎん地域経済研究所 常務取締役 佐藤伸夫 様	地区職業奉仕部門委員長 伊藤 悟 様
大宮シティロータリークラブ 会長 佐々木 修 様	クラブ管理運営委員長 井上 悟 様
同上 パスト会長 奉仕プロジェクト委員長	プログラム委員長 田上朝朗 様
同上 沖田定男 様	オプザーバー 名苗このみ 様

## お客様ご挨拶

大宮シティロータリークラブ  
会長 佐々木 修 様



大宮シティロータリークラブ佐々木と申します。本日、5名のクラブ会員とお伺いいたしました。昨年は田口会長をはじめ皆様には大変お世話になりました。本来は日頃のお礼に伺うところ大変残念な報告をしなくてはなりません。当クラブ初代会長の濱野英美さんがご逝去されました。突然の事に驚きと悲しみを隠せません。

# 積極参加でロータリーを楽しもう！

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: info@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



1月11日昼頃に倒れ病氣治療中、回復を祈りながらも残念な事に15日夕刻6時16分、永眠されました。

昨年度は、浜野ガバナー年度をお支えいただき誠にありがとうございました。葬儀の節には宜しくお願いたします。

本日のメーキャップの目的は、元大宮西ロータリークラブに在籍の筑波伸夫様に卓話を頂ける事のお礼と、地区職業奉仕部門で清水恒信様にお世話になったお礼です。

本日は、伝統ある貴クラブ様の例会を勉強させて頂きますので、宜しくお願い致します。

## 幹事報告

### 幹事 小木曾賢己



1. 繰り返しになりますが、2月16日、IMが2月16日行われます。登録開始12時30分、場所は大宮清水園です。
2. 濱野英美パストガバナーご葬儀につきまして詳細を報告します。通夜式は1月21日(木)18:00より、告別式1月22日(金)10時より、セレモニー大宮ホール(大宮区宮町2-31)にて執り行われます。
3. 次回例会は1月25日。藤井会員の卓話とクラブ協議会(中間決算)を予定しております。



### 親睦委員会 村上 徹 委員

松本健一(4日)、古屋実男(13日)、神保裕昭(16日)、中村雅之(20日)、大竹庄藏(21日)、吉澤隆(23日)、渡邊 雄(25日)、吉田奉行(28日)、新見和男(29日)、各会員



代表して、大竹庄藏会員からご挨拶いただきました。

## ロータリーの友

### 広報・雑誌委員 佐藤真義 会員



#### 1. 横組みから

- ① (P3) ラビンドランRI会長の新年のメッセージは、「世界へのプレゼントになろう」という意味が込められています。個人であれ、クラブを通してであれ、ロータリアンの行う地域社会への奉仕活動の心を、地元への貢献に留まらず、少しでも世界に目を向ければ、それだけでもロータリーの数の影響力を世界に発揮することができます。『あなたの影響力を増やしましょう』と呼びかけてます。
- ② 今月は職業奉仕月間として特集(p8~14)が組まれています。第2590地区(横浜市)では、ロータリアンが企画する短期企業派遣研修開催が、新任副校長の必修研修となっており、いわゆる一般企業でのキャリアパス制度的に定着している様子が紹介されています。
- ③ インターアクト特集(p15~19)では、当地区から春日部イブニングRCの認知症サポーター養成講座開催の活動が紹介されています。
- ④ 心は共に(p24~26)では、さいたま響RCの東日本大震災・被災者支援の奉仕活動として、「絆 in 妙高」が紹介されています。
- ⑤ 地区大会略報(p28~29)は、8地区の地区大会が掲載されており、当地区も井原 實ガバナーとともに掲載されました。
- ⑥ 米山だより(p30~31)では近年、ロータリアンの寄付で支えられた学友からの寄付が増加、総額で2,500万円以上になり、米山への寄付の思いとして大阪・交野RCで奨学した張 虞安さん(中国)のお話が紹介されています。

#### 2. 縦組みから

- ① SPEECH(p4~)は、南部美人で有名な蔵元5代目：久慈浩介社長の「二戸から世界へ・・・」です。「ブランド価値を向上させ」「健康志向に目をつけたオンリーワン戦略」、そしてグローバルに挑戦しているお話です。記事の中で「企業規模の大小ではなく、価値の大小で世界は見ます。」という言葉が印象的でした。
- ② わがまち(p9~12)、今月は足利市(栃木県)です。
- ③ 友愛の広場(P13~17)は、当地区から二つのクラブ「二つのクラブに入会して」浦和東RCの館田正登会員、「マイナンバー 会社のリスクと対策」川口シティ鳩ヶ谷RCの時枝慎一郎会員の投稿が掲載されています。
- ④ 卓話の泉(p18~19)卓話の泉では、日本で最初にラーメンを食べたのは水戸黄門だったというお話等々が紹介されています。

⑤俳壇・歌壇・柳壇（p20～21）、今月も川口中央RC（阿部游徹会員）さんが選ばれました。

⑥ロータリーアットワーク（p22～33）では、今月号は32のクラブ活動が掲載されています。当地区からも「市民ソフトボール大会」を開催した戸田西RCさんと、「メークアップツアーに参加して」の浦和東RC戸崎洋会員の二クラブの投稿記事が掲載されています。

今月の「ロータリーの友」も充実した内容となっておりますので、皆さん一読してみてください。

## ゲスト卓話

ぶぎん地域経済研究所  
常務取締役 佐藤伸夫 様



<2016年の経済見通し>

### 1. 経済見通しの4つのポイント

まず見通しの前提である四点についてお話しします。一つ目は円相場です。現在は円高局面ですが、日米金利差が拡大するにつれて円安傾向になり年平均では125円前後に落ち着くと見えています。二番目は原油価格です。現在の急落はサウジと米国の関係悪化にも由来しています。サウジの採算ラインは20ドル/b1である一方、米国のシェールは50ドル/b1程度ですので、財政逼迫しているサウジもいずれ50ドル/b1弱で妥協すると見えています。三番目は米国経済です。製造業では先行き弱含みも窺えますが、個人消費を中心に概ね好調を維持する見通しです。四番目は減速懸念の中国経済です。一党独裁であること、財政余力が豊富であることから当面は大きく底割れするとは考えにくい状況です。

### 2. 日本経済の成長率見通し

こうした状況で2016年国内経済は、雇用・所得環境の改善、消費者物価の沈静化、年度末における消費増税前の駆け込み需要などから個人消費が緩やかに増加し、実質国内総生産は前年度比+1.5%成長すると予測しています。

### 3. インバウンド消費への期待

最後にインバウンド消費のお話しをします。訪日外国人は2015年19百万人台の見込みですが、今後も中国やアセアンにおけるアップミドルの所得層と富裕層の激増が予想され、増加が期待されます。そうした情勢で東京だけではない地方におけるインバウンド消費（ローカル・インバウンド）をいかに喚起できるかがカギとなります。そのためには、①外国人向けの効果的なSNSの活用、②圏央道等を利用した地方を経由する観光ルートづくり、③人口増加が見込まれるムスリムの取り込み、などが肝要となります。

会員皆様の益々のご健闘を祈念してお話を終わります。ご清聴に感謝します。

ぶぎん地域経済研究所 常務取締役  
佐藤伸夫様(右)と  
田口修身会長



## ～次回例会案内～

次回例会は、シルバー人材センター・佐藤様をお招きしてのゲスト卓話や新入会員のインニシエーションスピーチを予定しています。また誕生祝いも行いますので、2月生まれの皆様をはじめ、多くの会員のご出席をお待ちしています。